

# **Oracle® Database**

## **Database Client リリース・ノート**

### **19c for IBM: Linux on POWER Little Endian Systems**

F22713-01(原本部品番号:F21093-01)

2019年7月

Copyright © 2015, 2019, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

原著者: Sunil Surabhi, Bharathi Jayathirtha

原協力者: Mark Bauer、(原協力者)

原協力者: (原協力者)、(原協力者)

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複製、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。お客様との間に適切な契約が定められている場合を除いて、オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。お客様との間に適切な契約が定められている場合を除いて、オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

# 目次

- [動作保証情報](#)
- [サポート対象外の製品](#)
- [その他の既知の問題](#)
- [ドキュメントのアクセシビリティについて](#)

このリリース・ノートには、今回のリリースのプラットフォーム固有または製品固有のマニュアルに記載されていない重要な情報が含まれています。

このドキュメントは、『[Oracle Database!リリース・ノート](#)』の補足です。

このドキュメントは、リリース後に更新される場合があります。次の場所で、このドキュメントに更新があるかどうかをチェックし、その他のOracleドキュメントを参照することができます。

<http://docs.oracle.com/en/database/>

このドキュメントは次のトピックで構成されています。

- [動作保証情報](#)
- [サポート対象外の製品](#)
- [その他の既知の問題](#)
- [ドキュメントのアクセシビリティについて](#)

## 動作保証情報

Oracle Database 19cの最新の動作要件は、次に示すMy Oracle Supportを参照してください。

<https://support.oracle.com>

Oracle Database 19c for Linux on POWER Systemsは、次に示すバージョン以上のオペレーティング・システムに対応しています：

- Red Hat Enterprise Linux Server 7.1
- SUSE Linux Enterprise Serverの場合 12

リリース12.1.0.2以降、Oracle Database ClientはPower (64ビット)上のLinuxでサポートされます。

## サポート対象外の製品

Pro\*COBOLはPOWER Systems上のLinuxではサポートされません。

## その他の既知の問題

次の項には、Oracle Database 19cおよび関連製品に関する問題についての情報が含まれています。

Pro\*CでサポートされないC99ヘッダー

Pro\*Cパーサーは、POWER Systems上のLinuxでC99ヘッダーを認識できません。

この問題の回避策はありません。

この問題は、Oracle Bug#6142780によって追跡されます。

## ドキュメントのアクセシビリティについて

Oracleのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWebサイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracleサポートへのアクセス

サポートを購入したオラクル社のお客様は、My Oracle Supportを介して電子的なサポートにアクセスできます。詳細情報は

(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は  
(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。